

NAM、A I の無料健康相談

人工知能（A I）関連サービスを開発するNAM（東京・中央、中野哲平社長）は、A Iが無料で健康相談に応じるサービスを2018年1月から始める。LINEのチャット機能を使い、利用者が書き込んだ症状への対処法などをA Iが教える。医療機関での受診が必要な場合、医師の紹介や病院予約などの機能も備える。初年度に1万人以上の利用を見込む。

「ドクターQ」は、頭痛や腹痛など日常的に起きる症状をA Iが問診する。例えば頭痛の場合、いつ発症したかや、痛みの程度など数十種類の項目から原因を絞り込んでいく。症状が重い場合は医療機関での受診を勧める。症状が軽い場合は対処法などを教えてくれる。

医療機関や医師との連携も進め、受診

や薬の処方履歴などの情報を独自の電子カルテに集約する。新たな医療機関に受診した際に電子カルテを見せれば、適切な診療を受けることにつながる。提携する医師と直接やり取りしたり、診療予約したりできる有料サービスも提供する。

血液検査のデータを基に、糖尿病など生活習慣病の発症リスクを診断するサービスも提供するほか、健康状態の改善につながる健康食品などを推薦する機能も備える。



症状を書き込むとA Iが自動で相談に乗ってくれる

2017年11月29日付日経産業新聞24ページ

©日本経済新聞社 許諾番号30059457 無断複製転載を禁じます。